

小坂町プレミアム付商品券が販売中です

使用可能店舗について

利用期間：10月1日(火)～令和2年2月29日(土)

原則として町内店舗のみで、取扱店にはポスターが掲示されています。対象者の方へは購入引換券の送付とともに店舗一覧をお知らせするほか、最新情報はかつの商工会ホームページにて確認いただけます。

商品券販売場所について

販売期間：10月1日(火)～令和2年2月28日(金)

販売場所	販売時間
マックスバリュ 小坂店	9時～18時
小坂鉱山事務所(小坂まちづくり株式会社)	9時～17時
秋田銀行 小坂支店	9時～11時30分、12時30分～15時



購入引換券、本人確認書類を提示して購入してください。

※購入引換券は対象者の方へ直接郵送されます。

※本人確認書類…運転免許証、マイナンバーカード、パスポート、健康保険証、社員証、学生証 等

注意 事項 の 商 品 券

- 商品券はおつりが出ません。 ●購入引換券の再発行は原則できません。また、コピーの使用はできません。
 - 商品券の第三者への譲渡、現金への換金、転売はできません。 ●利用期間の過ぎた商品券の使用や払い戻しはできません。
 - 金券やたばこの購入、税金や公共料金、債務の支払いには使用できません。
 - 土地や家屋等の不動産の購入はできません。 ●商品券の紛失や盗難に対して町は責任を負いません。
- そのほかについては、広報こさか7月号から毎月掲載していますので、そちらもご覧ください。

お問い合わせ先 <申請、購入引換券について…観光産業課観光商工班 TEL29-3908
>販売、換金等について……かつの商工会 TEL22-0050



アメリカ：ピルグリムとピューリタン

1620年、イギリスでの迫害から逃げた102人がアメリカ大陸にたどり着きました。この人たちはいずれピルグリム(巡礼者)と呼ばれるようになります。イギリスの国教であるイングランド国教会では、人は聖職者を通して神につながっていると伝えました。しかし、ピルグリムは人が直接神に繋がっていると信じて、イングランド国教会のかたいヒエラルキーに反対しました。そのため迫害を受け、自由に礼拝をできるようにアメリカ大陸に渡りました。

ピルグリムは都会に住み慣れていたので農業の知識が少なく、一年目の冬に大半が食料不足や病気で死亡しました。二年目、周囲のインディアン(先住民)がピルグリムに農業を教えてくれたおかげで植民地がようやく成功しました。ピルグリムはインディアンと友好関係を築いて、数十年も平和に生活をしました。

同時に、ピルグリムと同じ信仰のイギリスに残っていたピューリタン(清教徒)もいました。ピューリ

タンは富者や知識階級で、イングランド国教会を改革しようとしていました。しかし、改革に失敗した結果、1630年にアメリカ大陸に渡ることになりました。ピルグリムと違って自由に礼拝できる場所だけでなく、キリスト教のユートピアを作るのが目的でした。自分が神に選ばれたと信じて、自分と少しでも異なる信仰を持つ人を異端者と呼び迫害しました。インディアンも騙して、殺して、土地を奪いました。その積極性で、たったの十年間でピューリタンが2万人になりました。同時にピルグリムはたったの2600人でした。そしていずれピューリタンはアメリカの優位を占めることになりました。

そのため、ピューリタンの価値観がアメリカに大きく影響を与えました。強く抱いていた個人主義がアメリカ人の性格だけでなく、国の政府機構にも影響を残しました。富貴は神の祝福の証だと信じたため、富貴であるのは美徳の証、故に貧困は不道德の証だと考えていました。実は、現在のアメリカでもこれを信じる人が少なくはなく、アメリカがほかの国に比べて社会保障制度が限られている理由にもなります。その反面、努力をすれば誰でも勝ち取ることができる、アメリカン・ドリームという概念もこの考えから発しました。そしてアメリカ人の4分の3がキリスト教であることにも、もちろんピューリタンの影響が少なくありません。

